

## 平成 26 年度第 1 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 26 年 5 月 22 日 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、大村委員、寺田委員、永田委員、豊田委員、早坂委員、笈委員、石田委員
- 事務局 : 小檜山市長公室次長、町山協働推進課長、齋藤協働推進課係長、井上事務長、高梨主幹、高柳主任主事、仁科主事

### ■会議次第 :

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議事
  - (1)平成 26 年度学生の募集結果及び選考の考え方について
4. 報告事項
  - (1)市民大学冊子編集委員会(活動報告)
5. 事務連絡
6. 閉会

### ■議事概要 :

- (1)平成 26 年度学生の募集結果及び選考の考え方について

### ■決定事項

- ・応募が少なかった授業科目の「うらやすで地域デビュー、充実した「ネクストステージ」に向けて」講座を改編しての実施する方向としたが、代替案については次回に提案する。
- ・定員を超える応募のあった授業科目「うらやす市民のための経済と経営の基礎」、「うらやすの街を花で彩る」「市民力で育むうらやすの高齢化社会」については定員を増員して開講する。また、「世界とつながる（‘We are with you.’）うらやすを創る」の定員を 65 名に、「浦安のまちづくりと「ディズニー」」の定員を 32 名に増員し、抽選を行うこととした。
- ・次回の運営委員会開催を 7 月 24 日(木)午前 9 時 30 分～とした。

### □事務局説明（第 7 期の募集状況と選考方針）

#### ○応募結果

- ・応募締切の 5 月 15 日時点で応募者数 298 人であった。偏りが多かったため 5 月 30 日まで募集期間を延長する。

- ・応募の内訳は新規生が 67 名、継続が 231 名。

#### ○応募傾向

- ・応募総数(実人数)は過去最多となり、延べ受講者数は過去 3 番目の申し込み、一人平均 1.39 科目から今年は 1.42 科目となった。
- ・応募者の構成比が平準化傾向にある。(1 期生 27%、新規生 22%)
- ・基礎教養系講座並びに新規講座で受講生が増加した。
  - 「世界とつながる(‘We are with you.’) うらやすを創る」
  - 「うらやす市民のための経済と経営の基礎」
  - 「浦安のまちづくりと「ディズニー」」
- ・平均年齢は、団塊の世代の加齢とともに上昇。今年は過去最高の 68.37 歳。(最年長 90 歳)

#### ○応募の少なかった授業科目について

- ・「うらやすで地域デビュー、充実した「ネクストステージ」に向けて」が 3 名の応募で留まっており、コーディネーターがワークや意見交換・発表を予定していることから 3 名では成立せず、改編して 11 月以降の開講を検討する。改編(案)については、次回の運営委員会にて再提案する。

#### ○定員を超える応募のあった授業科目の選考について

- ・定員に満たない講座については、募集期間を 5 月 30 日(金)まで延長する。
- ・「世界とつながる(‘We are with you.’) うらやすを創る」、「うらやす市民のための経済と経営の基礎」、「浦安のまちづくりと「ディズニー」」、「うらやすの街を花で彩る」、「市民力で育むうらやすの高齢化社会」の 5 講座は定員を超えた募集があった。
- ・定員を増員した場合、決定通知にてその増員した旨を申込者全員に周知する。
- ・過去、10 名以内の応募超過はすべて定員増で対応している。「経済」「園芸」、「高齢化」の 3 講座については、定員超えが 10 人未満であり、コーディネーターの了承も得ていることから、定員増員で開講する。
- ・「世界とつながる」は応募が 81 人。受講室に入らないため、コーディネーターの山内先生と調整した。受け入れ人数は、教室の収容人数を 60 名としたうえで、毎年数名の欠席者が出ていることを考慮して 65 人とした。「ディズニー」は応募が 43 人。「世界とつながる」と同様に欠席者を考慮し、受け入れ人数を 32 人とした。以上の 2 講座については選考委員にて抽選を行う。より多くの方に入學していただくため、第一順位は新規申込者、第二順位は単願者としている。以降は抽選と考えている。

#### □市民大学冊子編集委員会(活動報告)

- ・印刷業者について、一般競争入札にて株式会社エリート情報社に決定し、編集委員会

に参加をしている。

- ・付録 DVD に関しては A4 サイズの資料が 3,000 枚集約可能。
- ・発行者は「うらやす市民大学」もしくは「うらやす市民大学編集委員会」

## □主な意見

- ・「ネクストステージ」の応募人数について、昨年の協働講座と同様、講座内容が分かりにくいため応募人数が伸びなかったのではないか。
- ・「世界とつながる」に当選したいがために単願で出したが、2つ目は「ネクストステージ」でもよかった。
- ・昨年、「ネクストステージ」を受講したが、内容はとてもよかった。しかし、高齢の受講生が多いため、体を動かす講座より座学の方が受けやすいのではないか。
- ・受けた人の口コミもないと講座の内容が伝わりづらいのではないか。
- ・「ネクストステージ」の改変案について、科目名が「市民大学で学んだことを～」となっているため、市民大学で学んだことのある人しか受けに来ないのでないか。
- ・しっかりとシラバスの中身まで目を通してもらうようにする工夫が必要。『ワークショップ』という言葉をよく使っているが、何なのか伝わっていない。
- ・自分が「ネクストステージ」という表現を聞いて、受け手が必ず何かやらなくてはいけないのではないかという考えになったため、とても敷居が高く感じた。
- ・「ネクストステージ」は市民大学として根幹の講座。市民大学で学んだことをきっかけに地域で活動してほしいという思いで講座を設けている。一方では、学んだ先の出口が見えないという意見も出ており、行政側の意図が伝わっていない印象を受けた。
- ・既に「ネクストステージ」にいる方もいるのではないか。
- ・市内で活動している人たちが「ネクストステージ」の講座を担っていくように仕向けてはどうか。
- ・「ネクストステージ」の改編案について、人が集まらなかったから無料のオープン講座にするというのは単純すぎではないか。
- ・定員を超えた申込みについて、実際に受講する段階で欠席者が必ず出るため、欠席者を見込んだ人数を定員として設定すべきではないか。
- ・編集に印刷業者が入るのは異例のため、印刷業者主体にならないように経験の深い宮崎副学長に入ってもらってはどうか。

次回、第2回運営委員会開催日程は、平成26年7月24日（木）午前9時30分～ うらやす市民大学受講室で開催。

以上